

令和2年度 茨城大学教員免許状更新講習シラバス

【選択】身体コミュニケーション&コーチング(新課題)

※この講習を受講する方は同名の講習科目を含む講習を受講することができません。

クラスCD	ハ-106	開講日・定員	6/21(日)50名
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭	講習会場	茨城大学水戸キャンパス
講習科目名	身体コミュニケーション&コーチング	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	加藤 敏弘 (かとう としひろ)	所属	人文社会科学部
主な受講対象者 これ以外の希望者も受講可	全教員	担当時間	6時間
講習内容	<p>児童生徒の心身の発達や人間形成上の課題を踏まえた上で、次の2点を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの媒体として身体の持つ意味を非言語コミュニケーションを理解することから考え、子どもたちとのふれあいをさまざまなワークを通して見つめ直す。 ・企業や教育現場などさまざまな場面で活用されているコーチングの基本を学び、各種ワークシートを用いて学校現場でのコーチングを考える。 		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの媒体としての身体についての理解を深め、自己の身体を内観し、他者との向き合い方を理解し、子どもたちとのふれあいを見つめ直すことができる。 ・コーチングの歴史と基本的な考え方を理解し、学校現場でのコーチングについて具体的な方策を考案することができる。 		
受講者への 事前連絡事項	子どもたちとの関係性を身体的な側面から観察しておいて下さい。		
成績評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> 実技考査 <input type="checkbox"/> 口頭試験 <input type="checkbox"/> その他 (備考)	認定試験に関して	<input checked="" type="checkbox"/> 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。 <input type="checkbox"/> 持ち込みは不可とする。 (備考)

令和2年度 茨城大学教員免許状更新講習シラバス

【選択】「今、ここ」から学ぶカウンセリング(新課題)

クラスCD	ハ-107	開講日・定員	6/21(日)・30名
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭	講習会場	茨城大学水戸キャンパス
講習科目名	「今、ここ」から学ぶカウンセリング	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	正保 春彦 (しょうぼ はるひこ)	所属	大学院教育学研究科
主な受講対象者 これ以外の希望者も受講可	全教員	担当時間	6時間
講習内容	<p>カウンセリングにおいて重要な「今、ここ」の感覚を中心に体験的な演習と講義を行います。従来、実感を持って学ぶことが難しかった「今、ここ」の感覚について、即興の技法に基づいて新たに開発されたワークやゲームを中心とした体験法により、単なる講義やロールプレイとは違った形で学ぶことができます。また「エクステンド・アドバンス」の概念を新たに導入し、新しい援助関係のあり方についても提案します。既にカウンセリングについて一定の理解と技能を有する方にとっても、新たな視点でカウンセリングを見直すヒントとなります。</p>		
到達目標	<p>・相手の視点に立って、「今、ここ」に即して、他者の話を聞くことの意義を理解し、支援できるようになる。</p>		
受講者への 事前連絡事項	<p>・軽い身体活動を含みます。動きやすい服装でご参加下さい(ハイヒール等不可)。</p>		
成績評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> 実技考査 <input type="checkbox"/> 口頭試験 <input type="checkbox"/> その他	認定試験に関して	<input checked="" type="checkbox"/> 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。 <input type="checkbox"/> 持ち込みは不可とする。
	(備考)		(備考)

令和2年度 茨城大学教員免許状更新講習シラバス

【選択】発達障害の二次障害に対する理解と支援(新課題)

※この講習を受講する方は同名の講習科目を含む講習を受講することができません。

クラスCD	ハ-108	開講日・定員	6/21(日)・40名
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭	講習会場	茨城大学水戸キャンパス
講習科目名	発達障害の二次障害に対する理解と支援	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	矢嶋 敬紘 (やじま たかひろ)	所属	全学教育機構
主な受講対象者 これ以外の希望者も受講可	全教員	担当時間	6時間
講習内容	発達障害の二次障害に対する理解を深めるとともに、具体的な支援の実際について学ぶ。 特に、通常の学級に在籍する発達障害が疑われる園児・児童・生徒に対する支援について、二次障害予防に関する解説や、支援に関わる学内外組織との連携、保護者や関係者との情報共有の実践について学んでいく。		
到達目標	1) 発達障害の二次障害に対して適切に理解できる。 2) 発達障害の二次障害に対する、具体的な支援の実践についてのイメージができる。		
受講者への 事前連絡事項	講習時に適宜プリントを配布する。		
成績評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> 実技考査 <input type="checkbox"/> 口頭試験 <input type="checkbox"/> その他 (備考)	認定試験に関して	<input checked="" type="checkbox"/> 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。 <input type="checkbox"/> 持ち込みは不可とする。 (備考)

令和2年度 茨城大学教員免許状更新講習シラバス

【選択】アクティブ・ラーニングによる道徳授業(新課題)

※この講習を受講する方は【選択必修】考え、議論する道徳授業のあり方(小川 哲哉)を受講することができません。

クラスCD	ハ-109	開講日・定員	6/21(日)・50名
対象職種	教諭のみ	講習会場	茨城大学水戸キャンパス
講習科目名	アクティブ・ラーニングによる道徳授業	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	小川 哲哉 (おがわ てつや)	所属	教育学部
主な受講対象者 これ以外の希望者も受講可	小・中・高教諭	担当時間	6時間
講習内容	<p>新学習指導要領においては主体的・対話的で深い学びが求められており、そのための有効な教育方法として「アクティブ・ラーニング」に注目が集まっている。本講習では、アクティブ・ラーニングによる授業づくりを「道徳」を事例として学んでいきたい。講習では、自我関与的な学習、問題解決学習、体験的な学習等を中心にした道徳授業モデルを受講生諸氏と考え、主体的・対話的で深い学びはどのようにしたら実践できるのかを学んでいく。</p>		
到達目標	<p>1)アクティブ・ラーニングの理論と実践の理解を深める。 2)読み物教材の登場人物への自我関与を行う授業、問題解決的な授業、道徳的行為に関する体験的な授業に対する理解を深める。 3)授業の技術やスキルの習得を深める。</p>		
受講者への 事前連絡事項	<p>講義形式の授業も行うが、講習の大部分はグループワーク等による協働学習がメインであることをご承知おき頂きたい。</p>		
成績評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> 実技考査 <input type="checkbox"/> 口頭試験 <input type="checkbox"/> その他 (備考)	認定試験に関して	<input checked="" type="checkbox"/> 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。 <input type="checkbox"/> 持ち込みは不可とする。 (備考)

令和2年度 茨城大学教員免許状更新講習シラバス

【選択】言葉を楽しみ言葉をみがく国語科の授業づくり/文学性を育む国語教育(新展開)

※この講習を受講する方は同名の講習科目を含む講習を受講することができません。

クラスCD	ニ-103	開講日・定員	6/21(日)・50名
対象職種	教諭のみ	講習会場	茨城大学水戸キャンパス

講習科目名	言葉を楽しみ言葉を磨く国語科の授業づくり	講習の形態	講義
担当講師名(ふりがな)	昌子佳広(しょうじよしひろ)	所属	教育学部
主な受講対象者 これ以外の希望者も受講可	小・中・高教諭(国語)	担当時間	3時間
講習内容	・国語科授業の本質的・根源的なねらい・目標を「言葉を楽しみ言葉を磨く」と捉える立場から、その実現を目指す授業のあり方を、以下のプロセスを通して提案する。 ①詩を読むことの授業実践事例紹介 ②文学教材の教材研究(演習)と文学(物語)を読むことの授業づくり ③古典教材の教材研究(演習)と古典(随筆)を読むことの授業づくり ④まとめ		
到達目標	・国語科授業の基礎的・基本的な理念を再構築する。 ・国語科授業づくりにおいて今後重視すべき視点を獲得する。		
受講者への事前連絡事項			
成績評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> 実技考査 <input type="checkbox"/> 口頭試験 <input type="checkbox"/> その他 (備考)	認定試験に関して	<input checked="" type="checkbox"/> 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。 <input type="checkbox"/> 持ち込みは不可とする。 (備考)

講習科目名	文学性を育む国語教育	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	宮崎 尚子 (みやざき なおこ)	所属	教育学部
主な受講対象者 これ以外の希望者も受講可	小・中・高教諭(国語)	担当時間	3時間
講習内容	①日本近代文学を題材にして、その解釈を通して文学的な読み方を学ぶ。書かれている内容から文学性を育む国語教育について考察する。 ②平成29年度の学習指導要領の「文学国語」を意識して、教材の文学的な読みを展開する。具体的には芥川龍之介の作品を取り上げ、その特徴を指摘しながら文学教材の読み方、解釈について学ぶ。特に芥川の王朝物についての傾向から見える近代の抱える問題について知り、他の作品解釈に応用できるようにする。当時の時代背景を手掛かりに、現代社会の抱える問題との共通点を考察する。		
到達目標	①近代文学作品が描く「個」について理解を深めることができる。 ②芥川龍之介の作品についてその特徴を論じることができる。 ③文学的な教材の解釈ができる。		
受講者への事前連絡事項	①前半は日本近代文学に関する講義を行います。後半は簡単なグループワーク(各自の「羅生門」に対する読みの討論)を行います。		
成績評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> 実技考査 <input type="checkbox"/> 口頭試験 <input type="checkbox"/> その他 (備考)	認定試験に関して	<input checked="" type="checkbox"/> 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。 <input type="checkbox"/> 持ち込みは不可とする。 (備考)

令和2年度 茨城大学教員免許状更新講習シラバス

【選択】[量子論入門]/[素粒子論入門](新展開)

クラスCD	ニ-104	開講日・定員	6/21(日)・30名
対象職種	教諭のみ	講習会場	茨城大学水戸キャンパス

講習科目名	量子論入門	講習の形態	講義
担当講師名(ふりがな)	永尾 敬一 (ながお けいいち)	所属	教育学部
主な受講対象者 これ以外の希望者も受講可	小・中・高教諭(理科)	担当時間	3時間
講習内容	現代物理学の根幹をなしている量子論について、その特徴と不可思議性に焦点を当て、数式をほとんど用いずに概観します。具体的には、まず、古典物理学の困難から量子論が誕生した経緯を説明して、粒子と波動の二重性などの量子論特有の性質や不可思議性について考察します。また、現代社会で活用されている量子論の応用技術についても紹介します。なお、筆記試験は、数式を使わずに解答可能なごく簡単な問いに限定して出題します。		
到達目標	古典論と量子論の違いを理解して、量子論特有の性質や不可思議性を考察できる。量子論に関連する内容を児童・生徒に質問された際に、適切に回答・説明できる。		
受講者への 事前連絡事項	資料は配布します。		
成績評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験	認定試験に関して	<input checked="" type="checkbox"/> 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。
	<input type="checkbox"/> 実技考査		<input type="checkbox"/> 持ち込みは不可とする。
	<input type="checkbox"/> 口頭試験		
	<input type="checkbox"/> その他		
	(備考)		(備考)

講習科目名	素粒子論入門	講習の形態	講義
担当講師名(ふりがな)	永尾 敬一 (ながお けいいち)	所属	教育学部
主な受講対象者 これ以外の希望者も受講可	小・中・高教諭(理科)	担当時間	3時間
講習内容	現代物理学の一分野をなしている素粒子論について、その基本的な考え方から今後の課題までを、数式をほとんど用いずに概観します。具体的には、対称性や相転移など、素粒子論を理解するのに必須の概念に触れながら、素粒子論における基本的な考え方を説明します。また、現在の素粒子論においては未解決な問題についても紹介します。なお、筆記試験は、数式を使わずに解答可能なごく簡単な問いに限定して出題します。		
到達目標	素粒子論の概要を説明できる。また、素粒子論に関連する内容を児童・生徒に質問された際に、適切に回答・説明できる。		
受講者への 事前連絡事項	資料は配布します。		
成績評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験	認定試験に関して	<input checked="" type="checkbox"/> 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。
	<input type="checkbox"/> 実技考査		<input type="checkbox"/> 持ち込みは不可とする。
	<input type="checkbox"/> 口頭試験		
	<input type="checkbox"/> その他		
	(備考)		(備考)